

熊本大学大学院法曹養成研究科
平成27年度第1期募集 法律科目試験問題

憲 法

平成26年8月31日（日） 12:00～12:45

解答上の注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題の中を見てはいけません。
2. 問題用紙は1枚、解答用紙は2枚、下書き用紙は1枚です。
3. 解答用紙には、熊本大学大学院法曹養成研究科の受験番号のみを記入し、氏名は記入しないで下さい。
4. 解答は横書きにして、2枚の解答用紙（裏面も使用）に収めて下さい。
解答用紙の追加・交換はしません。
5. 解答にはボールペンまたは鉛筆を使用して下さい。
6. 問題の内容に関する質問には応じません。
7. 貸与した六法に書き込みをしてはいけません。
8. 試験終了後、問題用紙および下書き用紙は持ち帰って下さい。

【 問題 】 以下の設例について、設問に答えなさい。(配点：60点)

A市には大きな神社が一つある。A市の市長Bは、神社の祭に、毎年、主賓として招かれ、祭の開催宣言と奉納文を読み上げていた。今年、Bは、A市の予算から、玉串料(神社に祈禱を依頼する際に納める金銭)、献灯料(神社に灯明を掲げる際に納める金銭)及び供物料(神前に御供え物をする際の金銭)として、それぞれ1万円を支出した。神社への公金の支出を知ったCは住民訴訟で争うこととした。

設問1 Cの訴訟代理人はどのような憲法上の主張を行うべきか述べなさい。

設問2 設問1での主張に対するあなたの見解を、反論も想定しつつ述べなさい。

以上